

ちば 県議会だより

NO.127

党派別議員数

自民党	54人
民主党	20人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
定数95人 現員89人	(平成22年6月25日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

六月定例会のあらまし

六月定例会県議会は、五月二十八日に招集され六月二十二日までの二十六日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告の後、不正経理調査特別委員会の報告の件を議題とし、調査報告書のとおり了承されました。その後、平成二十二年度千葉県一般会計補正予算等の議案十五件、報告二件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十名の議員が登壇し、知事、政治姿勢をはじめ、財政問題、医療問題、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、六月十四日から四日間 にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、議案十五件については原案のとおり可決・承認されました。その後、知事から人事案件三件が追加提案され、原案のとおり同意されました。

次に、上程された議員発議案(意見書等)二十九件のうち十三件を可決し、今定例会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

なお、健康福祉常任委員会、農林水産常任委員会及び県土整備常任委員会においては、公社等外郭団体における不正経理問題等について閉会中も継続して調査することとなりました。

また、任期満了に伴い、常任委員会及び議会運営委員会の委員が新たに選任され、各委員会において、正副委員長の互選が行われました。

最後に、酒井茂英議長、近藤喜久夫副議長の辞職により正副議長選挙が行われました。

代表質問



※質問項目は、紙面の都合上1人6項目以内で掲載しています。詳細は、千葉県議会ホームページ等で確認できます。



公明党 塚定 良治 議員

六月四日(金)



民主党 杉田 守康 議員



自民党 やの 光正 議員

六月三日(木)

- ▶ 千葉県経済活性化に向けての成長戦略
- ▶ 高齢者の住環境のあり方
- ▶ 新卒者就職問題
- ▶ 農業問題
- ▶ 文化遺産の保存と活用
- ▶ スポレック健康スクエア用地

- ▶ 知事の政治姿勢
- ▶ 雇用問題
- ▶ 道路・交通問題
- ▶ 福祉・医療問題
- ▶ 有害鳥獣対策
- ▶ 公訴時効の廃止

- ▶ 知事の政治姿勢
- ▶ 空港問題
- ▶ ハッ場ダム
- ▶ (株)かずさアカデミアパーク
- ▶ 農業問題
- ▶ 千葉県教育振興基本計画

第64代議長に、鈴木 良紀 議員 第62代副議長に、岡村 泰明 議員

第64代 議長



鈴木 良紀 議長

第62代 副議長



岡村 泰明 副議長

6月22日(最終日)の本会議において、第64代議長に鈴木良紀議員(柏市選挙区選出・在職5期)、第62代副議長に岡村泰明議員(四街道市選挙区選出・在職4期)がそれぞれ選出されました。

就任にあたり、鈴木議長は「時代の変化を的確にとらえ、真の豊かさを実感できる県民生活を実現するため、618万県民の負託に応え、県民に開かれた議会運営を目指し、誠心誠意その職務に当たりたい。」と抱負を述べました。

また、岡村副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

ちば中学生県議会を開催

5月28日の本会議散会后、ちば中学生県議会が開かれました。

県議会への関心を高めるとともに、中学校社会科の「地方の政治と自治」の体験学習として、県内の公立・私立中学校95校から3年生189名が参加しました。

酒井県議会議長のあいさつにつづき、森田知事が県政の概要説明を行い、その後、中学生議員が登壇、県の施策等について質問し、関係課長が答弁を行いました。

最後に「積極的な観光PRと魅力的な千葉づくりに関する決議」を全員一致で可決し、ちば中学生県議会は閉会しました。(決議文は3面に掲載)



知事からの県政の概要説明を熱心に聞く中学生議員